

日刊建設通信新聞（2016年10月7日付3面掲載）

【オリコンサルの柏市交通安全実証実験 事故、ヒヤリが減少】

事故、ヒヤリが減少

オリコンサルの柏市
交通安全実証実験

オリエンタルコンサルタンツは、千葉県柏市と協働で実施した交通安全の実証実験「柏市交通安全プロジェクト」（2014年11月～16年3月）の結果をまとめた。プロジェクトの成果として、▽ドライバー、車両管理者への安全教育による事故、ヒヤリハットの減少▽ビッグデータ活用による道路施設の改良▽ヒヤリハット個所の市民との共有——が図られたとしている。

事故、ヒヤリハットの減少は、ドライブレコーダーを設置した公用車の事故を36%削減したとともに、ドライバーのヒヤリハットが約3分の1に減少した。道路施設の改良は、ヒヤリハットのデータを活用してインフラの改善策を提案。ヒヤリハット多発個所で植栽のせん定を実施した結果、急減速回数が約7割減少した。ヒヤリハット個所の市民との共有は、ドライブレコーダーの急減速データを基に、ヒヤリハットマップを作成したほか、ドライブレコーダーで収集したマナー違反の映像を使い、安全教育の教材を作成した。

一方、10月からは新たな取り組みとして、防犯対策に着眼した「柏市新交通安全・防犯対策プロジェクト」を実施する。常時走行動画を記録できるドライブレコーダーを使い、地域住民からの不審者情報、10月からは新たな取り組みとして、防犯対策に着眼した「柏市新交通安全・防犯対策プロジェクト」を実施する。常時走行動画を記録できるドライブレコーダーを使い、地域住民からの不審者情報、

報の通報や事件発生時に警察からの情報提供依頼に対応し、安全・安心なまちづくりに貢献していく。ドライブレコーダーは、公用車やボランティアの防犯パトロール車など30台以上に設置する。